

令和3年度 学校総合体育大会 卓球の部 大会要項

主催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県学校体育協会
 後援 (財)埼玉県体育協会 上尾市教育委員会 埼玉県卓球協会
 主管 埼玉県中学校体育連盟

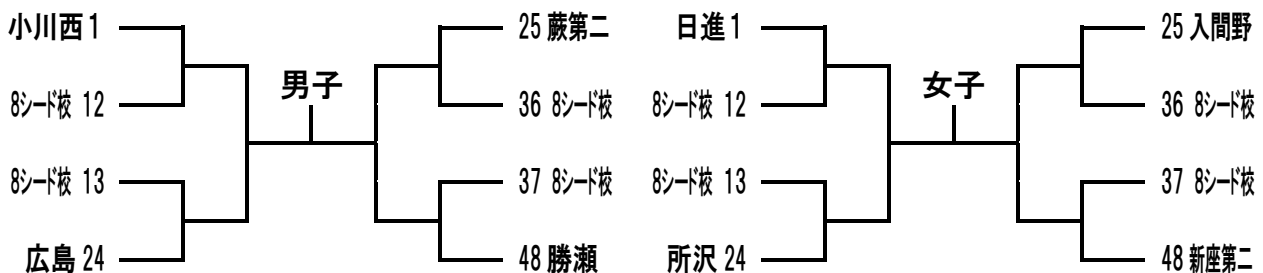
- 1 期 日 令和3年 7月13日(火) 男子団体戦 [決勝まで]
 7月14日(水) 女子団体戦 [決勝まで]
 7月15日(木) 男女シングルス・ダブルス [決勝まで]
- 2 会 場 上尾運動公園体育館 (JR高崎線「上尾駅」東口より徒歩約20分)
- 3 日 程 7月13日(火)・7月14日(水)・7月15日(木) 3日間
 [受付] 8:30~9:00 [諸注意] 9:30~

- ・ 午前8時40分までは入館できない。
- ・ 2階入口付近にて受付を行う。受付終了後入館することができる。
- ・ 受付で健康観察票を必ず提出すること。健康観察票のない者の入場は認めない。
- ・ 午前8時40分以前の開館の問い合わせや開館要求をしない。
- ・ 体育館への電話連絡をしない。
 体育館の事務所に迷惑がかかるため、電話連絡は緊急時のみとする。
 [上尾運動公園体育館] 048-771-4245

- 4 種 目 団体戦 [4単1複] (男子団体・女子団体) ※ダブルスを実施する。
 個人戦 (男女シングルス・男女ダブルス) ※ダブルスを実施する。
- 5 参加数 各地区代表 [団 体] 男子48チーム 女子48チーム
 [シングルス] 男子92名 女子92名
 [ダブルス] 男子40ペア 女子40ペア
- 6 使用球 Nittaku スリースター球 (プラスチック球)
- 7 団体戦と個人戦

【団体戦】

- ・ 昨年度の県新人体育大会の結果において、シードの位置に下記のチームが入る。
 [1位] 第1シード [2位] 第2シード [1位に敗れた3位] 第3シード [2位に敗れた3位] 第4シード
- ・ 前回県大会の団体ベスト8チームが県大会に出場できない場合は、その地区の1位のチームにシード権が与えられる。



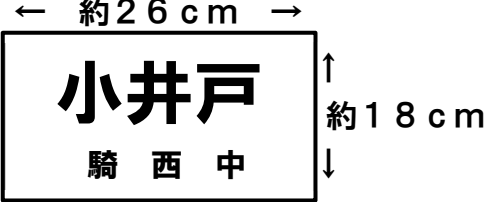
《ベスト8》 下記のチームは、抽選で12・13・36・37へ入る。

[男子] 越谷中央・上柴・昭和・日進 [女子] 新曽・住吉・川越西・騎西

【個人戦】

- ・昨年度の県新人体育大会において、ベスト16以上に入った選手は、地区予選を経て県大会に出場すれば、その選手にシード権が与えられる。

8 競技上の注意

- (1) 競技ルールは現行の日本卓球ルールに準じて行う。
 - ・サービスは、ボールを16cm以上、投げ上げることを徹底する。
 - ・タオルで汗を拭く場合は、原則、両者の得点の合計が6の倍数のときとする。
- (2) ゼッケンを必ず背中につける。(右記参照)
[日本卓球協会のもので可とする。]
- (3) ユニホーム上下は、公認マークが入ったものを着用する。団体戦では色のデザインがそろったものを全員が着用する。
- (4) 団体戦の登録人数を**6名以上10名以内**とする。未登録の選手を試合に起用した場合は失格となる。また、登録した選手名でその名前と違う選手が出場した場合はその選手が出場した団体が失格となる。なお、当日選手変更する場合は、入場時に受付に申し出ること。その際、変更する選手の健康観察票が必要となる。
- (5) ベンチに入れるのは各校10名以内の生徒と監督(顧問、外部指導者[アドバイザー]、部活動指導員)のうち**2名まで**とする。外部指導者[アドバイザー]は日頃から当該校の指導し校長が認めた者に限る。部活動指導員は年度当初に校長を通じて中体連に依頼し受理されている者に限る。なお、外部指導者[アドバイザー]または部活指導員はそれぞれ1名ずつ申請することができる。

外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員の申請については、所定の大会参加申込書に記入し県大会代表者会で提出する。申込書に記入されていない場合には一切認められない。大会時には本部より貸し出すアドバイザー証を身につけてベンチに入ることとする。また、顧問監督または外部指導者[アドバイザー]の変更については、所定の変更届(埼玉県中体連卓球専門部ホームページよりダウンロード可[<https://saichutaku.info/>])にあらかじめ記入(職印が必要となる)し、大会受付時に必ず提出する。なお、試合開始後の変更は原則認められない。
- (6) 団体戦においては監督、個人戦においては監督および選手が抗議権を持つ。
- (7) ゲーム間のアドバイスは、1分以内で認める。ただし、試合中のタイムアウトは、現在のところ認めていない。(※県大会代表者会で確認する)
- (8) ベンチや観客席から相手選手に不快感を与えるような声援や、動揺を与えかねない指示等は厳に慎む。顧問は生徒にマナーを守るように十分指導しておく。また、観客席から試合中の選手へのアドバイス等やそれに疑われる言動をしてはいけない。
- (9) ラケット交換時に、ラケットをベンチに持って行かない。
- (10) 団体戦のオーダー交換は、試合前に各コートで速やかに行う。
- (11) 団体戦のあいさつは、原則として監督教師も整列する。
- (12) 団体戦の選手ベンチは、若い番号のチームが本部に向かって左側とする。
- (13) 審判は、団体戦や個人戦とも原則として敗者審判とする。審判は、公正に毅然とした態度で判定にあたる。また、審判はジェスチャーをはっきりと示す。

《ポイント》 得点側の片手をグーにして肩へ上げる。 《レット》 片手をパーにして頭上へ上げる。 審判員が判断しかねるトラブルが生じたときは、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に報告し、その判定に従うこと。

- (14) 試合結果については、団体戦の場合は「勝ったチームのキャプテン」が速やかに本部へ記録(オーダー)用紙を持って報告する。また、個人戦の場合は、「勝った選手本人」が速やかに本部へ報告する。
- (15) 促進ルールについては、試合開始10分経過後、対戦両者のポイントの合計が18点に満たない場合に適用される。促進ルールが適用される可能性のある試合では、あらかじめ両チームで計時をしておく。適用条件になった場合には、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に連絡する。本部からストロークカウンターを配置する。
- (16) 団体戦の1・2回戦に限り、ラスト5番手まで試合を行う。ただし、3点先取が決まり、その試合の勝敗が決定した場合は、その後の試合は1ゲームマッチとする。

9 県大会運営上の注意(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む)

(1) 大会参加人数について

- ①密回避のため、団体戦の登録人数を6名以上10名以内とする。会場に入れる生徒数は、各校20名を上限とする。ただし「20名」とは「登録生徒の10名+応援の3年生10名までの合計20名」のことを指すものとする。応援の10名は、3年生のみとする。(1・2年生は、応援生徒としては会場に入れない。)
- ②団体戦・個人戦における引率等の教員、監督教員、外部指導者[アドバイザー]、部活動指導員などは1チームにつき(1学校男女別に最大で) **3名まで**とする。それを超えての入場は認めない。(ただし、ベンチに入れるのは2名まで。)
- ③個人戦の選手については、県大会出場選手のみ参加可能とする。双方またはどちらかが初戦に限り、対戦相手と2分程度実施するので自校での練習相手の必要はない。

(2) 引率の保護者、応援の保護者、登録されていない教員等の会場への入場について

- ①原則、保護者の入場は認めない。
- ②各校の顧問以外の管理職や教員等(写真撮影や応援のための管理職等)の入場は3密回避のため原則禁止とする。
- ③写真業者も中体連で指定した業者を除き、入場は認めない。
- ④卓球部が設置されていない学校で、当該校が認めた正式な保護者引率の場合については、その保護者のみ会場への入場を許可する。ただし、健康観察票を提出する。忘れた場合は入場できない。卓球部が設置されている学校は、教員が引率を行う。

(3) 諸注意および表彰

- ①試合開始前に諸注意等を行い、加えて選手宣誓のみを行う予定である。
- ②試合終了後は表彰のみを行う予定である。

(4) 卓球専門部ガイドラインおよび中体連ガイドラインについて

- ①大会参加にあたり、埼玉県中体連卓球専門部ホームページ(<https://saichutaku.info/>)に記載されているガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策方針について」を閲覧し、その内容に同意する必要がある。併せて、埼玉県中体連のガイドラインも同様に埼玉県中体連のホームページを確認し、こちらの内容にも同意していること。なお、同意できない場合は、その旨を明らかにすること。

(5) 新型コロナウイルス感染症の対応について

- ①大会途中で休校措置となった学校の出場については、大会途中であっても休校措置の学校の出場は認めない。不戦敗扱いとなる。各校で休校になってしまった場合は、ただちに中体連本部と卓球専門部専門委員長(加須市立騎西中学校：小井戸)に連絡すること。また、学年・学級閉鎖になった場合は、該当学年・クラスに所属している選手の参加は認めないが、学校としてチームが組める場合には参加を認める。個人種目についても同様とし、参加者が該当学年・クラスの場合は棄権とする。
- ②風邪などの症状があった場合は、医師の判断で新型コロナウイルスではないと診断があれば出場を認める。発熱(37.5℃以上)している場合、医師の判断がなければ会場には連れて来てはならない。なお、医師の判断なしに連れてきてしまった場合、陽性者、濃厚接触者の可能性があるため、本大会にはチームとして出場することができない。ただし、当日の朝は平熱であり、会場において発熱(37.5℃以上)している場合は、速やかに本部に報告をし、看護師の助言のもと、大会責任者の判断に委ねることとする(原則、保護者に連絡をし、迎えに来ていただくこととなる)。その際、他の生徒の大会参加については、役員等で協議し判断する。
- ③健康観察票は、当日の会場入口において全員が提出する。健康観察票は卓球専門部指定のもの[大会選手用・大会役員用]を使用する(卓球専門部のホームページ(<https://saichutaku.info/>)よりダウンロード可)。なお、顧問・外部指導者[アドバイザー]・部活動指導員は、[大会役員用]を使用する。また、当日に健康観察票を忘れた生徒や学校については大会参加を認めない。万が一、当日の体温を測ってこなかった生徒には健康観察票を確認し、非接触式体温計で検温する。問題がなければ出場を認める。なお、試合当日2週間前から検温により、風邪などの症状があり、濃厚接触の疑いがある場合は出場を禁止する。対象者は選手、顧問、外部指導者[アドバイザー]、部活動指導員、大会役員、大会に関わる全ての関係者とする。
- ④大会参加にあたっては参加同意書が必要となる。同意書については大会参加申込書の中に、感染症対策に関する中体連ガイドラインに同意する旨が記載されている。大会参加申込書を提出することで、本人・保護者がそのガイドラインに同意したとみなされる。同意しない場合は、大会に参加することができない。

(6) 会場への交通手段について

- ①今大会は密を避けるため、貸切バスでの参加を認める。ただし、代表者会議で貸し切りバスの利用について申請している学校に限る。近隣の学校(南部地区の学校)や高崎線沿いの学校等はできる限り公共交通機関を利用していただき、遠方の学校が駐車できない状態はできるだけ避けるようにする。駐車場は水上公園の駐車場のみとする。また、水上公園駐車場のロータリーにおいて、乗降のみを行うことも可とする。ただし、その他の場所での乗降は行わないこと。各校の最大参加人数等も踏まえて、バスの大きさは中型バスまでとする。状況によっては駐車場が一杯となり、バスが置けない場合は各参加校で対応すること。

(7) 会場の入場・退場方法について

- ①入場については役員(進行部)の指示に従い、ソーシャルディスタンスを保ちながら学校ごとに整列して2階からの入場とする。受付時に健康観察票を提出する(健康観察票を忘れた場合は入場できない)。入場したら必ず入口受付にて、組合せ表等を受取る。また、生徒・顧問・外部指導者[アドバイザー]等の退館はすべて1階とする。

(8) 当日の練習について

- ①団体戦・個人戦共に試合開始前の一斉練習の時間はとらないものとする。
- ②団体戦においては初戦に限り、1チームあたり1台を割り当て、3分間の練習を認める。それ以降については通常通り、対戦相手と3本の練習を各台で行う。
- ③個人戦については、双方またはどちらかが初戦に限り、最初の対戦相手と2分間の練習時間を確保する。それ以降については通常通り、対戦相手と3本の練習を行う。
- ④スーパーシードの選手の練習については、別に練習時間を設ける。(本部より指示)

(9) 会場について

- ①観客席について、地区ごとの指定席とする。席同士の間は、1席以上の間隔を空けるようにする。
- ②地区ごとの指定席にしているため、選手は昼食や応援もすべてその指定席で行う。
- ③顧問の先生は、新型コロナウイルス対応のため、どの生徒がどこの指定席に座ったかわかるように、専門部から配布されたプリントに記入し、初戦開始前に本部に提出する。
- ④**消毒液を各校最低1本は持参し、自校の選手が使用した座席は、顧問が責任をもって、持参した消毒液を使用して席の消毒を行ってから退場・退席する。**
- ⑤指定席の都合上、本大会における各校の横断幕の設置は不可とする。

(10) 試合中の換気・卓球台の消毒、及びボールの消毒について

- ①換気は1時間に10分間で実施する。放送にて5分前に換気の事前コールを行い、それ以降は放送で指示が出るまで、途中であるゲームは続けて構わないが、新たなゲームには入らないようにする。なお、時間になってもそのゲームが終わらない場合については、レットをかけ一時、中断とする。換気時間中は開けられる出入口は開けて換気を行う。この換気の時間を使い、役員が卓球台の消毒を行う。
- ②1試合ごとにボールの消毒を行い、ボールの管理はすべて各試合の審判が行う。審判は試合前、指定場所に試合球およびビニール手袋を取りに来る。ビニール手袋をはめた状態で審判を行う。試合終了後、使用した試合球を指定場所まで戻す。この際、試合球を戻すまではビニール手袋は外さない。試合球返却後、ビニール手袋を指定場所に捨て、消毒液等で手指消毒を行う。なお、続けて審判に入る場合は、ビニール手袋は着用したまま次の試合球を受け取る。

(11) マスクの着用について

試合中のマスク着用は選手の判断に委ねるが、着用していない場合は得点時や打球時などに大声を出さないようにする。また、審判や応援時、2階等での試合観戦については必ずマスクを着用すること。

(12) 新型コロナウイルス対応のための試合での制限について

- ①試合前・試合後の握手、カットマンにおける卓球台の移動については行わない。なお、エンド(ベンチ位置)は、対戦番号が若い番号の学校、選手が本部席に向かって左側とする。また、試合前のラケットの交換を行わず、ラバーを見せ合うこととする。

(13) 汗ふき・タオルの置き場・アドバイス中の対応について

- ①汗ふきタオルは直接卓球台にかけないようにすること。バッグやラケットケース等を台の下に置き、その上にタオルを置くようにする(床等に直に置かない)。また、タオル使用不可時に台で汗をぬぐったり、滑り防止のためシューズの裏を手で拭いたり、水筒を他人(顧問やチームメイト、外部指導者[アドバイザー]等)が渡すことは行わないこととする。タオルや水筒の共用もしない。
- ②ゲーム間のアドバイス中に顧問または外部指導者[アドバイザー]等に近づくのは、選手のみとする。他の選手は近づかないようにする(密の回避)。
- ③選手同士の不要な接触(ハイタッチ等)はしない。

10 会場使用上の注意（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む）

【全般的な注意事項】○密となる状況をつくらないようにする。

○競技中を除いてマスクを着用し、手洗い、手指消毒などを行う。

(1) 来場について

- ①上尾運動公園体育館の館内は、すべて上履きを使用することになっている。また、下足は各自が用意した袋に入れて、観客席に持っていくこと。
- ②電車やバスなどの公共交通機関を利用する際は、一般の方々の迷惑にならないようにする。徒歩や自転車での移動でも、一般の方々の迷惑にならないように移動する。
- ③参加生徒には、行き帰りの道中の態度、身だしなみ、館内での過ごし方等におけるルールやマナーを守るように、事前に引率顧問は十分に指導しておく。

(2) 入場(入館)について

- ①**開館時刻は8時40分**の予定となっている。整列入場を行う。チームごとに関係者（選手・監督・外部指導者、部活動指導員など）は同時に入館する。
- ②入場時に、健康観察票を提出するとともに、手指消毒を行う。

(3) 2階観客席等の利用について

- ①座席は地区ごとに指定となっている。座席は1つずつ間隔をおいて使用する。
- ②座席を移動しての応援はしない(他の座席を使用しない)。昼食も自席で食べる。荷物は座席の下に置き、通路には荷物を置かないこととする。
- ③館内には多くの来場者がいる。参加生徒は、館内で走り回ったり、壁打ちをしたりするなど、来場者や周囲の人たちへの迷惑行為とならないように注意する。
- ④トイレはきれいに正しく使用する。
- ⑤体育館内の施設は、すべてのものを丁寧に扱い、必要のないものには手を触れないようにする。また、指定された以外の施設内への立ち入りは決してしないこと。
- ⑥消毒液を各校で持参し、退館する際には顧問の先生が使用した座席の消毒を行う。また、座席付近や身の回りをよく確認し、ゴミが落ちていないことを確認する。

(4) 競技会場について

- ①各列8台×4列の計32台を使用する。
- ②出入口は可能な限り開放しておく。
- ③1時間に1回(10分間)の換気時間を設ける。選手は、換気時間中に競技領域を離れることはできない。また、コートでの練習は禁止とする。
- ④試合開始前の諸注意は2階観客席の指定された自席で実施する。
- ⑤水分補給をする際には、水滴を含めフロアにこぼさないように注意する。
- ⑥団体戦においては初戦に限り、1チームあたり1台を割り当て、3分間の練習を認める。それ以降については通常通り、対戦相手と3本の練習を各台で行う。
- ⑦個人戦については、双方またはどちらかが初戦に限り、最初の対戦相手と2分間の練習時間を確保する。それ以降については通常通り、対戦相手と3本の練習を行う。

(5) 審判について

- ①マスクとビニール手袋をつけて審判を行う。審判を行う選手は指定場所に試合球とビニール手袋を取りに来る。審判が終わったら、使用したビニール手袋を指定場所のごみ袋に捨てる。

(6) 会場内の移動について

- ① 2か所ある階段の一方を「降りる階段」、もう一方を「上がる階段」として、移動が一方向になるようにする。
- ② 通路や廊下、ロビーに立ち止まっていることのないようにする。

(7) その他

- ① 通路、廊下、ロビーなどを荷物置き場やベンチとして使用しない。
- ② 1試合ごと、また食事の前には、手洗いと手指消毒を行う。
- ③ ガム、アメ、菓子類、缶ジュース類の飲食、またゲーム機器や音楽機器、スマートフォンや携帯電話等の使用は禁止とする。
- ④ 盗難、ケガ、器物破損、事故が発生した場合は、直ちに本部に連絡する。
- ⑤ 引率教師(顧問)が選手の貴重品を管理する。
- ⑥ 落とし物や紛失物がないように、各自(各チーム)で荷物の管理を徹底する。
大会中の落とし物については、令和3年7月30日まで(中学校)で保管をする。

1.1 試合進行(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む)

(1) 団体戦について

- ① アナウンスで台に入る。審判を行う選手は試合球とビニール手袋を指定場所に取りに来る。
- ② 初戦のみ、試合開始前に3分間の練習時間がある。1回戦は放送で一斉に3分間をとる。2回戦目以降は各チームで時間を計測する。また、各チーム1台を割り当て、チーム内で譲り合って使用する。
- ③ 試合を行う。トスの後、お互いにラケットを見せて3本練習し、試合を始める。
団体戦の勝敗は順番関係なく、5マッチのうち3勝(マッチ)が決まった時点で決定する。しかし、どちらかのチームが初戦の場合のみ、残りの対戦は1ゲームマッチの試合を行う。
- ④ 試合終了後、団体戦のあいさつを行い、勝ったチームはオーダー用紙を持って本部席に報告する。試合に負けたチームは審判があるので、放送が聞こえる場所にいる。

(2) 個人戦について

- ① アナウンスで台に入る。審判になった選手は指定場所に試合球とビニール手袋を取りに来る。
- ② 初戦のみ試合開始前に2分間の練習時間がある。1周り目の試合のみ、全体の放送で練習を始める。それ以降は各時自で2分間を計測する。また、お互いに試合を1試合はしている3回戦以降は2分間の練習は行わない。
- ③ 試合を行う。トスの後、お互いにラケットを見せて3本練習し、試合を始める。
- ④ 試合終了後、個人戦のあいさつを行い、勝った選手は本部席に報告する。試合に負けた選手は審判があるので、放送が聞こえる場所にいる。

(3) その他

- ① 入場したら、すぐに2階観客席の指定されたベンチに消毒してから座り、諸注意を待つ。
- ② 試合はすべて放送により入る。放送されたらベンチからコートに向かう。アリーナ出入口で待機することはできない。
- ③ 審判については、3密を防ぐために団体戦・個人戦ともに1人とする。

12 県大会当日の持ち物・提出物

(1) 持ち物 消毒液 (各校持参)

(2) 提出物

① 健康観察票 (大会選手・応援生徒用)

〃 (顧問・外部指導者・部活動指導員・引率者・役員用)

② 座席のプリント (初戦開始前に本部に提出)

《参考資料》

【県中体連(関東・全国も同様)における外部指導者[アドバイザー]の規定】

- 外部指導者の資格として、
- 1 当該校長が認めた成人(20歳以上)であること。
 - 2 日頃から継続して、その学校の部活の指導にあたっている者。
 - 3 複数の学校及び、複数種目の外部指導者としてベンチ入りはできない。
 - 4 小・中・高の「教職員」は、外部指導者として各大会には登録できない。
※学校の事務員、講師、用務員、教育委員会指導主事等も不可。
 - 5 外部指導者のみで生徒の引率はできない(部活動指導員は除く)。

※上記については、今大会に限ったものではない。

令和元年度の学校総合体育大会のカップ等の返還があります。

下記の学校は、大会当日に必ずご持参いただき、本部に渡してください。

【男子団体】

優勝校 さいたま市立日進中学校 (優勝旗・優勝杯)

準優勝校 富士見市立勝瀬中学校 (準優勝杯)

【女子団体】

優勝校 さいたま市立日進中学校 (優勝旗・優勝杯)

準優勝校 本庄市立本庄西中学校 (準優勝杯)

【男子個人】

シングルス優勝 東松山市立東中学校 (優勝杯)

ダブルス優勝 加須市立昭和中学校 (優勝杯)

【女子個人】

シングルス優勝 ふじみ野市立大井西中学校 (優勝杯)

ダブルス優勝 さいたま市立日進中学校 (優勝杯)